

# 平成22年度 笠松力検定 中級 問題用紙 制限時間60分

## 注意事項

- (ア) 検定問題は全50問で、1問から25問が四者択一方式、26問から50問が記述式です。解答用紙の1問から25問は番号を、26問から50問は問題で指示した語句を解答用紙に記入してください。
- (イ) 解答用紙の記入にあたっては、鉛筆で各問題につき一つ解答してください。
- (ウ) 誤って記入した場合は、消しゴムで跡が残らないように消してください。
- (エ) 検定受検中は、監督者の指示が出るまで検定会場を退出しないでください。

## 笠松力検定委員会

問題 1 から 25 までを読み、正しいと思われるものを一つ選び、  
解答用紙に番号を記入してください。

1. 中世の古道とされる鎌倉街道のうち、笠松周辺のルートは「東小熊(羽島市)—足近(羽島市)—〇〇—里小牧(一宮市)—黒田(一宮市)」です。〇〇に入る町内は何ですか。
  - ① 藤掛
  - ② 田代
  - ③ 長池
  - ④ 北及
  
2. 日本国内に住んでいる外国人は、住所地の市区町村役場で外国人登録をしています。平成23年1月現在、笠松町に外国人登録をしている人が一番多いのはどの国ですか。
  - ① 中国
  - ② 韓国
  - ③ ブラジル
  - ④ フィリピン
  
3. 町内の和菓子店や名鉄笠松駅にある「ふらっと笠松」で購入することができる蹄鉄クッキーには、赤色と緑色のドレンチェリーが付いていますが、何個付いていますか。
  - ① 3個
  - ② 4個
  - ③ 5個
  - ④ 6個
  
4. 美濃郡代笠松陣屋には、幕府直轄領からの年貢の徴収や民政安定、裁判にあたった郡代役所と、河川の治水土木工事の指揮・監督にあたった堤方役所がありました。ところで、笠松陣屋の最後の美濃郡代は誰ですか。
  - ① 大久保彦左衛門
  - ② 遠山金四郎
  - ③ 屋代増之助
  - ④ 勝海舟

5. 古くは政治・経済・交通の要衝の地であった笠松町は、平成21年に生誕120年を迎えました。記念式典を行った平成21年11月1日現在の笠松町の世帯数はおおよそ何世帯ですか。

- ① 7,000世帯
- ② 8,000世帯
- ③ 9,000世帯
- ④ 10,000世帯

6. 笠松町では、快適な住環境づくりのため、平成元年から下水道整備を進めています。道路に設置される下水道マンホール蓋のデザインは、事業を始めるときに公募により決定したものです。何がデザインされていますか。

- ① 橋
- ② トンボ
- ③ かさまるくん
- ④ 馬

7. 門間の神明神社には、神の宿る木として樹齢170年以上といわれ保護されている町の天然記念物があります。この木の名前は何ですか。

- ① イチョウ
- ② クロガネモチ
- ③ クス
- ④ マツ

8. 笠松町は岐阜県の南部に位置し、愛知県に接する細長い町ですが、その面積はおおよそ何平方キロメートルですか。

- ① 7.36平方キロメートル
- ② 8.36平方キロメートル
- ③ 10.36平方キロメートル
- ④ 12.36平方キロメートル

9. 木曾川橋の下流の藤掛の川岸にあった「四季の里」は、後藤新兵衛により開かれました。彼の俳号は何ですか。

- ① 馬骨
- ② 馬方
- ③ 馬刺
- ④ 馬好

10. 森蘭丸の祖父、父親の時代の森家は、笠松に所領地があったといわれていますが、それは現在のどこの町内ですか。

- ① 田代
- ② 長池
- ③ 北及
- ④ 門間

11. 笠松町の上水道は、水源地で地下水を汲みあげて各家庭や事業所などへ給水しています。町の水源地はいくつありますか。

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

12. 美濃郡代笠松陣屋には、郡代役所と堤方役所がありました。美濃郡代の笠松陣屋が建造されたときの郡代は何代目の誰ですか。

- ① 初代大久保長安
- ② 2代目岡田将監善同
- ③ 3代目岡田将監善政
- ④ 4代目名取半左衛門

13. 人や荷物などを宿場から宿場へ人馬をかえながら次々に送りつぐことを「しゅくつぎ宿次」と言いました。江戸時代末期、鮎鮎を運ぶ時に宿次をしていた問屋場はどこですか。

- ① 杉山家
- ② 加藤家
- ③ 古田家
- ④ 高嶋家

14. 明治のはじめ、各地に義校(小学校の前身)ができました。笠松において、笠松村、徳田村、田代村と連合して設置された義校はどれですか。
- ① 育英義校
  - ② 藍水義校
  - ③ 求心義校
  - ④ 敬恪義校
15. 笠松競馬場の敷地面積は298,000平方メートルで、多数の地主から土地を借りて競馬事業を運営しています。競馬場の敷地面積のおおよそ何パーセントが私有地ですか。
- ① 55パーセント
  - ② 62パーセント
  - ③ 79パーセント
  - ④ 98パーセント
16. 笠松町では「道徳のまちづくり」を推進しています。全国的にもめずらしい「笠松町道徳のまちづくり条例」を制定し、心を大切にするまちづくりに取り組んでいます。この条例が制定されたのは平成何年ですか。
- ① 19年
  - ② 20年
  - ③ 21年
  - ④ 22年
17. 笠松町の主な収入は町税、国・県支出金、地方交付税、町債となっています。平成21年度の一般会計決算における町税の収入割合はおおよそ何パーセントですか。
- ① 約90パーセント
  - ② 約75パーセント
  - ③ 約60パーセント
  - ④ 約45パーセント

18. 今も踊り継がれている「円城寺の芭蕉踊」は、岐阜県重要無形民俗文化財に指定されています。毎年、秋葉神社で踊られるこの踊りは、何を祈願していますか。

- ① 五穀豊穰
- ② 無病息災
- ③ 雨乞い
- ④ 家内安全

19. 中門間の慈眼寺には、ベルギー円空展に出品された円空仏2体があります。その内1体は不動明王像ですが、もう1体は何ですか。

- ① 毘沙門天像
- ② 木造十一面観音立像
- ③ 木造千手観音立像
- ④ 木造像形座像

20. 「トンボ池」は木曾川の本流の跡で、川湊として舟も繋がれ、川祭りも行われていました。今から何年前まで川祭りが行われていたと言われていますか。

- ① 30年前
- ② 50年前
- ③ 70年前
- ④ 100年前

21. 岐阜県重要無形民俗文化財に指定されている「円城寺の芭蕉踊」は、2人1組で踊ります。2人のうち1人は竹に紙をつけて芭蕉の葉に見立てたものを背負い、腹に太鼓を付けていますが、もう1人の踊り手が鳴り物として使うものは何ですか。

- ① シンバル
- ② すり鉦<sup>かね</sup>
- ③ 尺八
- ④ 鼓<sup>つづみ</sup>

22. 笠松町と松枝村が合併したのはいつですか。

- ① 昭和21年8月
- ② 昭和23年8月
- ③ 昭和25年8月
- ④ 昭和27年8月

23. 明治時代、美濃の国の一部が「笠松県」と呼ばれていた期間がありました。その期間はおおよそ何年間ですか。

- ① 2年間
- ② 4年間
- ③ 6年間
- ④ 8年間

24. 平成22年度の笠松町一般会計の予算額は、おおよそ何億円ですか。

- ① 約 60億円
- ② 約 80億円
- ③ 約 100億円
- ④ 約 120億円

25. 笠松町の桜の名所である奈良津堤では、毎年盛大に桜まつりが行われます。奈良津堤の桜で、一番多いものはどれですか。

- ① アマギヨシノ
- ② ヤマザクラ
- ③ ソメイヨシノ
- ④ ハナガサ

問題26から50までを読み、各設問の指示に従い解答用紙に正しいと思われる解答を記入してください。

なお、語句とのかみの指示による設問は、漢字、ひらがな、カタカナを用いて記入してください。

26. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

江戸時代後期の笠松は、政治・経済・交通の要衝だけでなく、文化・芸術の中心地として発展し、儒学・教育者の角田錦江、山水画の山田訥斎が有名です。は、儒学者で漢詩文の研究に優れ、漢方医として医療に努めました。漢詩の石碑は笠松中央公民館の南庭にあります。

27. 次の文章を読み、に入る語句をひらがなで書きなさい。

笠松町には、のぼり旗を立てた案内所が各所にあります。町に住む方や笠松を訪れた方など、誰もが気軽に立ち寄り、地域の情報などが得られる交流の場で、の駅と呼んでいます。

28. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

岐阜県内で笠松町と接するのは、岐阜市、岐南町、羽島市とあとひとつはです。

29. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

「米野の戦い」のとき、円城寺の野々垣氏は、東軍に渡河の便宜を与えた功績により、尾張藩のを任命されました。

30. 次の文章を読み、に入る語句を書きなさい。

江戸時代、尾張藩主は所領地の岐阜町を訪れる時、木曾川を渡り、円城寺地内の「おふじの坂」の西側を通って行きました。その時に通った道をと呼んでいました。

31. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

江川・無動寺の木曾川の河原にある池は、木曾川の河跡湖で岐阜県一のビオトープです。ここは、鳥をはじめ多くの動物や昆虫などが生息し、笠松天国と呼ばれ、町民の憩いの場となっています。

32. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

笠松町では、外国の文化や風土、生活習慣などを体験させることにより、国際的視野を広め、語学力の向上を図ることを目的として、平成5年度より中学生を海外に派遣しています。平成14年度以降は隔年で夏休み期間中にアメリカ合衆国の（地名）へ派遣しています。

33. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

木曾川の洪水で、田畑や屋敷が水に浸かっても生活できるように石垣を高く積み上げた建物を水屋といいます。それは今も笠松町の（町内名）に残っています。

34. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松湊の石畳は、平成21年に埋もれていた部分が掘り出されたことにより、全長114メートルの全容が現れ、岐阜県のとして追加指定されました。

35. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

無動寺の土岐塚は、土岐頼香を供養する塚です。天文13年(1544)に光得寺で陣をかまえていた土岐頼香が、義父の家来に殺されたと伝えられています。

36. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

長良川の鮎を鮓にして、江戸の将軍に献上するために通った道を笠松ではと呼んでいます。

37. 次の文章を読み、に入る語句をひらがなで書きなさい。

中野のお堂にまつられている6体の地藏様は、台座の記録から明治時代の廃仏毀釈で木曾川上流の加茂郡東白川越原村から流されたものとわかっています。地元の人々は「河原から地藏様」と呼んでいます。

38. 次の文章を読み、に入る語句を書きなさい。

笠松町は夜でも安全で明るい町並みを目指して3000基以上のをイメージした街路灯が道路を照らしています。明るい町は笠松の自慢です。

39. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

平成12年、笠松町で初めて登録有形文化財に登録されたは、昭和4年、岐阜県工業試験場の本館として建設されました。昭和21年に昭和天皇が岐阜県を巡幸された時には、ここに宿泊されました。

40. 次の文章を読み、に入る語句をひらがなで書きなさい。

笠松競馬場の正門近くに、オグリキャップのブロンズ像があります。平成22年にオグリキャップのを入れた記念碑が新設されました。

41. 次の文章を読み、に入る語句を書きなさい。

キリスト教を豊臣秀吉が禁止してから、明治時代まで信仰することができませんでした。田代の木曾川の河川敷にはキリスト教の信者が処刑された大白塚があり、笠松小学校の中庭には、こっそりと信者が信仰したマリア像のしるしが彫ってあるがあります。

42. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

平成17年の国勢調査によると、笠松町から通勤・通学で他の県も含め、他の市町村へ通う人が最も多かったのは岐阜市、2番目はです。

43. 次の文章を読み、に入る語句をひらがなで書きなさい。

笠松町では平成17年から防災・防犯などの緊急を要する情報を、携帯電話やパソコンにメール配信する緊急情報伝達システム通称メールを実施しています。

44. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

笠松みなど公園で開催される2つの大きなイベントは、8月15日の川まつりと秋に開催されるです。

45. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

木曾川の流れを弱め、堤防の決壊を防ぐために、石を積み上げ川の中に突き出した堰が、米野や江川、無動寺、長池に残っています。これをといいます。

46. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松町の定住人口の増加を図るため、町内に住宅を新築したり、新築住宅を購入した方に助成金が交付されます。

47. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

奈良町のは、禅宗の寺で赤門寺とも呼ばれ、美濃新四国八十八霊場の31番札所であり、町指定文化財の仏像もあります。

48. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

明治25年ごろまでの木曾川では、蒸気船が笠松湊との間を毎日運航していました。笠松は船運の中継地として、産業・経済・交通の要衝でした。

49. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

毎年4月の笠松まつりでは、岐阜県重要無形民俗文化財の笠松の行列が練り歩き、大勢の観客でにぎわいます。

50. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

江戸時代から農閑期の副業として織られ、その後、笠松の産業の主役となったは、<sup>たて</sup>経または<sup>よこ</sup>緯に<sup>しま</sup>縞をあらわした織物です。